

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第3区分
 【発行日】平成19年3月1日(2007.3.1)

【公開番号】特開2004-236336(P2004-236336A)

【公開日】平成16年8月19日(2004.8.19)

【年通号数】公開・登録公報2004-032

【出願番号】特願2004-23377(P2004-23377)

【国際特許分類】

H 04 J 1/00 (2006.01)

H 04 J 11/00 (2006.01)

【F I】

H 04 J 1/00

H 04 J 11/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成19年1月16日(2007.1.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

WLANシステムの信号処理の方法であつて、

前記WLANシステムの第1ノードの第1アンテナおよび第2アンテナにおいて、前記WLANシステムの第2ノードから送信された入信号を受信すること、

前記入信号に基づいて、前記第1アンテナおよび前記第2アンテナにそれぞれ対応する第1サブチャネルおよび第2サブチャネルの減衰情報を決定すること、および、

各トーンについて、相対減衰がより低いサブチャネルにほぼすべてのRF電力が加えられる複数のトーンに基づく多搬送波変調方式を使用して、前記第1アンテナおよび前記第2アンテナから前記第2ノードへ送信する出信号を生成することを含む方法。

【請求項2】

前記WLANシステムが、IEEE802.11規格に準拠するコンテンツ・ベースWLANシステムであり、

前記第1ノードが、前記WLANシステムのアクセス・ポイントであり、

前記第2ノードが、前記WLANシステムのクライアント端末である、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記第1ノードが、前記減衰情報の年齢を特徴付け、前記減衰情報の年齢に基づいて前記出信号を生成する際に、前記減衰情報を使用するかを決定し、

前記減衰情報が古過ぎる場合、前記第1ノードが、前記減衰情報とは関係なく前記出信号を生成する、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記第1ノードが、前記第2ノードに送信するデータを有するとき、前記第2ノードに前記入信号を前記第1ノードへ送信させるために第1ノードが第1パケットを前記第2ノードに送信し、前記第1ノードが、前記データに基づいて前記出信号を生成するために前記減衰情報を導出することを可能にする、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

前記出信号のデータ・レートが、前記第1パケットのデータ・レートより大きい、請求

項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

前記第 1 パケットが、送信要求 (R T S) パケットに対応し、前記入信号が、送信可 (C T S) パケットに対応する、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 7】

前記第 1 パケットが、送信される前記データの第 1 データ断片に対応し、前記入信号が、前記第 1 パケットの肯定応答パケットに対応し、前記出信号が、送信される前記データの第 2 データ断片に対応する、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 8】

前記第 1 データ断片が空である、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

前記第 1 パケットが、コンテンツのない (C F) ポーリング・パケットに対応し、前記入信号が、C F ポーリング・パケットの肯定応答パケットに対応する、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 10】

W L A N システムの第 1 ノードの装置であって、

(i) 前記第 1 ノードの第 1 アンテナおよび第 2 アンテナにおいて、前記 W L A N システムの第 2 ノードから送信された入信号を受信し、(i i) 前記入信号に基づいて、前記第 1 アンテナおよび前記第 2 アンテナにそれぞれ対応する第 1 サブチャネルおよび第 2 サブチャネルの減衰情報を決定するように適合された受信経路と、

各トーンについて、相対減衰がより低い前記サブチャネルにほぼすべての R F 電力が加えられる複数のトーンに基づく多搬送波変調方式を使用して、前記第 1 アンテナおよび前記第 2 アンテナから前記第 2 ノードに送信する出信号を生成するように適合された送信経路とを備える装置。